

鎌倉尼五山(第二位 東慶寺)

ここは尼五山の唯一現存する東慶寺/残りの四つは廃寺となっている





文学案内板

東 慶 寺

東慶寺は、文学に大変ゆかりの深い寺で、江戸時代より紀行文や川柳に描かれ、明治以後は小説、短歌、俳句など、多数の文学作品に描かれています。また、境内や墓地には文学碑や文人の墓が多いことでも知られていますが、この案内板では、寺内の文学関係碑と文人などの墓を紹介しました。

●文学関係碑(五十音順)

朝比奈宗源漢詩碑・太田水穂歌碑・三枝博音句碑・四賀光子歌碑・釈宗演と佐佐木信綱歌碑・高見順詩碑・田島絹亮句碑・田島房子歌碑・田村俊子記念碑・徳富蘇峰漢詩碑・中村汀女句碑・野田大塊句碑・眞杉静枝墓背誌・松下降章句碑

●文人の墓(現代日本文学大辞典「明治書院 収録者」)

安倍能成(哲学者)・岩波茂雄(岩波書店創業)・太田水穂(歌人)・川田順(歌人)・小林勇(随筆家)・小林秀雄(文芸評論家)・三枝博音(哲学者)・ささきささ(小説家)・佐佐木茂索(小説家)・四賀光子(歌人)・神西清(小説家・翻訳家)・鈴木大拙(仏教学者)・高見順(小説家)・田村俊子(小説家)・西田幾多郎(哲学者)・野上豊一郎(英文学者)・野上弥生子(小説家)・眞杉静枝(小説家)・和辻哲郎(哲学者)

尚、詳細は鎌倉文学館(鎌倉市長谷一―五―三・電話二三―三九一一)にご照会ください。

平成二年三月

鎌倉市教育委員会
鎌倉文学館



- 宗派 臨濟宗円覚寺派
- 山号寺号 松岡山東慶総持禅寺
- 建立 弘安8年(1285)
- 開山 覚山志道尼
- 開基 北条貞時



とう けい じ 東 慶 寺

Tokeiji

东庆寺

도케이지

鎌倉幕府の第八代執権北条時宗の夫人・覚山志道尼が開創。夫から離縁状をもらわれない限り、妻からは別れることができなかった時代に、駆け込めば離縁できる女人救済の寺として、開山以来、六百年近く縁切りの寺法を引き継いできました。後醍醐天皇の皇女・用堂尼の入寺以後は、松岡御所と称され、寺格の高い尼寺として名を馳せるようになり、室町時代には鎌倉尼五山第二位に列せられていました。明治時代になると寺法に終わりを告げ、釈宗演禅師を中興開山とする臨濟宗円覚寺派の禅寺となりました。

境内にはウメやハナシヨウブ、アジサイなど様々な花が植えられ四季を通じて楽しめます。学者や作家の墓が多いことでも有名で、鈴木大拙、西田幾多郎、岩波茂雄、和辻哲郎、安倍能成、高見順、小林秀雄らの墓があります。

金仏と梅の花
A metal statue of Buddha
and plum blossoms
金佛像和梅花
금부처와 매화꽃



Kakuzan Shidoni, wife of the eighth regent Hojo Tokimune of the Kamakura Shogunate, founded the temple.

这寺是鎌倉幕府の第8代執権北条時宗の夫人・覚山志道尼が開創の。夫から離縁状をもらわれない限り、妻からは別れることができなかった時代に、駆け込めば離縁できる女人救済の寺として、開山以来、六百年近く縁切りの寺法を引き継いできました。

가마쿠라 막부의 제8대 집권자 호조 도키무네의 아내 가쿠잔시도니가 건립한 이 절은 남편에게 이혼장을 받지 않는 한, 아내 쪽에서는 먼저 헤어질 수 없었던 시대에 절로써 여성을 구해준 사당이었다.

正面は山門





鐘樓











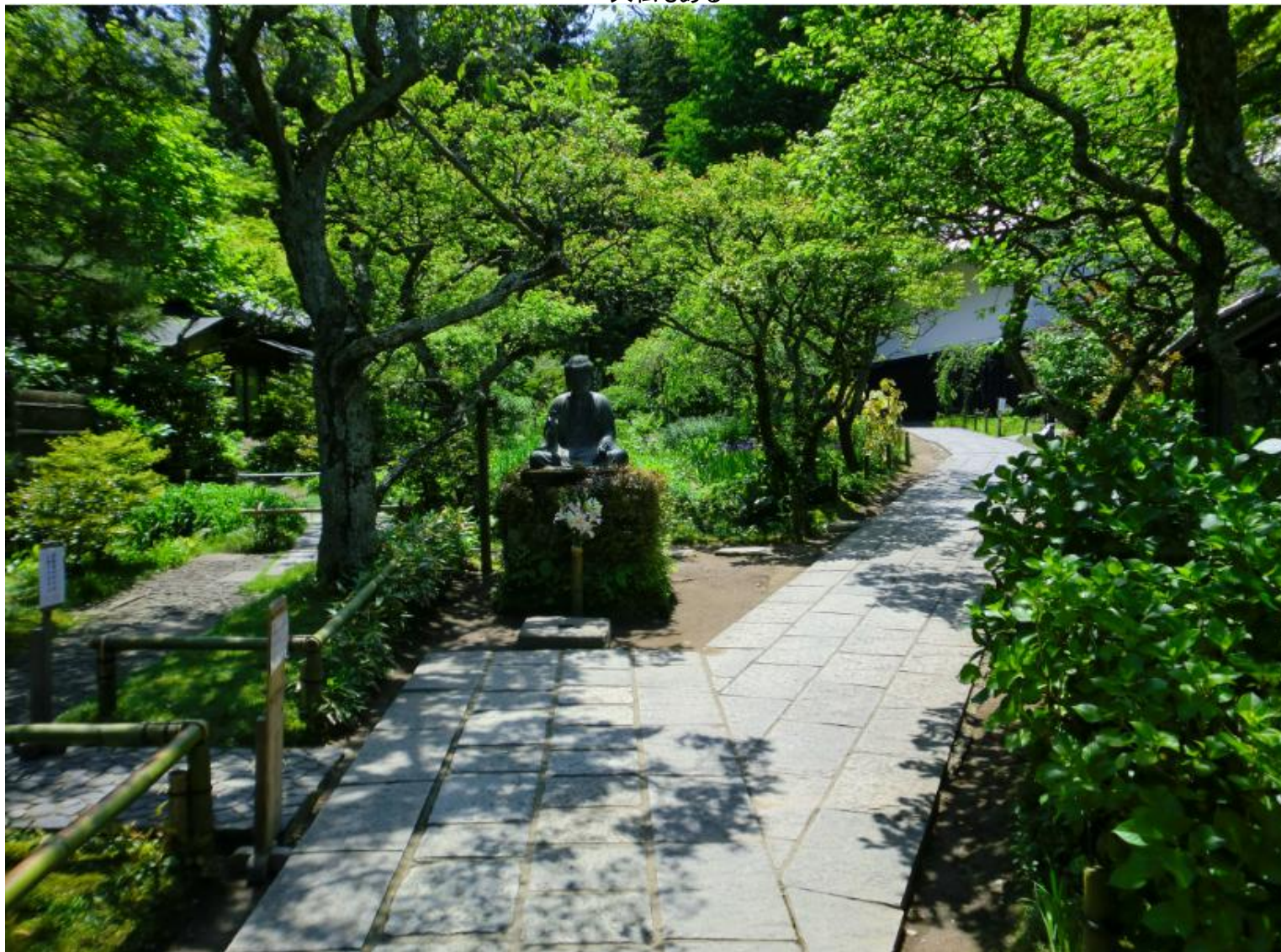
こんな石造物もあった



ここから本堂へ進む



大仏もある



本堂



変わった形の石造層塔





こんな石造物もある



参考ホームページ

<http://www.tokeiji.com/map/sanmon/>

<http://www.kamakura-burabura.com/meisyokitakamakuratoukeiji.htm>

http://www.treep.jp/kamakura/cate_temples/toukeiji.html

<http://mapbinder.com/Map/Japan/Kanagawa/Kamakurashi/Tokeiji/Tokeiji.htm>

